

＊ 感染症情報 ＊

未満児クラスでヘルパンギーナとRSウイルス感染症に感染したお子さんがいます。
体調を崩されて病院受診の際は、医療機関にもその旨をお伝えください。

<ヘルパンギーナ>

- 1) 病原体・・・主にコクサッキーウイルスだが、原因ウイルスが複数あるため何度も感染する可能性がある。
- 2) 潜伏期間・・・3～6日
- 3) 症状・・・発症初期には、高熱、のどの痛みなどの症状がみられる。また、咽頭に赤い粘膜しんがみられ、次に水泡（水ぶくれ）となり、間もなく、潰瘍となる。高熱は数日続く。熱性けいれんを合併することもある。無菌性髄膜炎を合併することがあり、発熱、頭痛、嘔吐を認める。まれに脳炎を合併することもある。
多くの場合は、2～4日の自然経過で解熱して治る。
- 5) 感染経路・・・飛沫感染、接触感染および経口感染である。飛沫や経口からは1～2週間、便からは数週～数か月間ウイルスが排出される。
- 6) 予防・治療・・・ワクチンは開発されていない。飛沫、経口、接触感染により感染するため、手洗いの励行など一般的な予防法が大切。
有効な治療はなく、対症療法で自然治癒することが多い。
- 7) 登園の目安・・・発熱や口腔内の水泡、潰瘍の影響がなく食事がとれ、全身状態が安定してから登園を再開するようお願いします。
登園時には保護者記入の登園許可証を持参ください。

<RSウイルス感染症>

- 1) 病原体・・・RSウイルス
- 2) 潜伏期間・・・4～6日
- 3) 症状・・・呼吸器感染症で、乳幼児期に初感染した場合の症状が重く、特に生後6ヵ月未満の乳児では重症な呼吸器症状を生じ、入院管理を必要とする場合もある。1度かかっても十分な免疫を得られず何度も罹患する可能性があるが、再感染した場合は徐々に症状が軽くなる。
- 4) 感染経路・・・飛沫感染、接触感染
- 5) 予防・・・ワクチンや抗ウイルス薬の開発が進められているが、まだ実用化され
治療法 っていない。飛沫、接触感染の為に手洗いの励行など一般的な予防法の
励行が大切である。
- 6) 登園の目安・・・発熱や呼吸器症状が消失して、全身症状が安定してから登園を再開
するようお願いいたします。咳症状がある場合は咳エチケットとし、
マスク着用をお願いします。
登園時には、保護者記入の登園許可証を持参ください。